

contents  
ジェットロ山口  
青島派遣レポート  
YMFGアジアニュース  
財団国際部からのお知らせ

発行 (一財) 山口県国際総合センター

日本貿易振興機構(ジェトロ) 山口貿易情報センター

内容についてご意見、ご質問があれば、下記までお問い合わせ下さい。

(一財) 山口県国際総合センター

山口県下関市豊前田町3-3-1

TEL083(231)5778 FAX083(231)5787

**メッセ海外通信**  
**INTERNATIONAL NEWS**  
KAIKYO MESSE SHIMONOSEKI

(一財) 山口県国際総合センター・日本貿易振興機構(ジェトロ)山口貿易情報センター

**MESSE**

## 貿易とは何か？ ～貿易実務と市場調査の重要性～

皆さんは「貿易」と聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。多くの人は貿易＝輸出入だと思うかもしれませんが、輸出入で取り扱うものは「モノ」だけでなく、貿易では「モノ」に加えて「サービス」も取り扱います。多種多様な「モノ」「サービス」を海外とやり取りする貿易には様々な困難がつきものです。今回はそういった困難を乗り越えるために生まれた「貿易実務」と海外ビジネスを行うにあたり非常に重要な「市場調査」について記載していきます。

### ■はじめに

「貿易」とは簡単に言うと国外の相手と物資やサービスの売買取引をすることです。人類史における貿易の歴史は非常に長く、古くは紀元前1200年頃に遡ります。紀元前1200年頃、地中海沿岸で活躍したフェキニア人という民族がいました。フェキニア人は地中海沿岸地域に海洋国家を建設し、海洋貿易によって国を繁栄させていきました。

彼らは船を造り、その船に乗って品物を運び貿易を行っており、これが現在の貿易の原型となっています。

我が国においても貿易は経済発展の鍵となっており、戦国時代の南蛮貿易をはじめ、歴史上様々な形で国外との物資のやり取りを行い、国家を繁栄させてきました。1871年には岩倉具視を団長として欧米に使節団が旅立ち、裕福な英国やオランダの姿を目の当たりにし、両国とも豊富な資源があるわけではないのに国は豊かである、その鍵は「貿易」だと気づき、我が国はすぐに欧米と肩を並べる大国に成長しました。

### ■貿易実務とは

前述したように、貿易とは国外の相手と物資・サービスのやり取りをすることを指します。国が違えば言語・文化などが異なり、それに伴って様々な問題が発生します。国内取引とは違い海外取引（貿易）では①取引相手が違う国

にいること②相手との距離が離れていることなどから国内取引では生じない問題が発生する可能性があります。そういった問題を克服するために、長い貿易の歴史の中で人類が確立してきた商習慣やルールの積み上げが「貿易実務」なのです。

### ■貿易実務の3つの流れ

それではここからは貿易実務の流れについて簡単にご紹介いたします。貿易実務には大きくモノ・カネ・カミの3つの流れがあり、それぞれ以下のようなやり取りのことを指します。

#### ①モノの流れ：

売主から買主への貨物の輸送。輸出者の商品送り出しから、輸入者が引き取るまでの貨物運送の流れ。

#### ②カネの流れ：

商品代金、その他の費用の支払い。金融機関を通じた代金決済の流れ。

#### ③カミの流れ：

契約書、船積書類、為替手形等貨物を引き取るまでに必要な書類のやり取り。税関（海貨）業者、税関、船会社への申告・書類の流れ。

貿易実務は①～③の流れが同時並行で動くため、それぞれに係る手続きを正確に行うことが

非常に重要になってきます。

取引先との契約締結から通関（海貨）業者との各種書類のやり取り、銀行への荷為替手形の提示・決済等、貿易実務には多様なやり取りが存在しています。そのすべてをここでご説明するのは難しいのですが、ジェトロ及び山口県国際総合センターでは貿易実務セミナーも開催しておりますので、ご興味をお持ちいただけましたら、各機関のホームページをご確認いただければと思います。

### ■貿易における市場調査の重要性

ここまで、貿易の歴史から簡単な貿易実務の流れについてご説明いたしました。いくら貿易実務を徹底して行い、問題なく物資・サービスをやり取りできるようになっても、ターゲット市場に需要がなければビジネスとして成立しません。ターゲット市場に需要があるかどうかの調査を行うことが非常に重要であり、貿易とはターゲット市場の調査から始まるといっても過言ではないのです。

輸出の場合、輸出先の国を検討する際に、当該国の一般的情報と、輸出しようとする商品特有の情報の二側面から市場調査を行います。一般的情報・商品特有の情報はそれぞれ以下のような情報を指します。

一般的情報：

地理・文化・社会、政治・経済、法制度、金融・為替、通商政策、流通・物流・通信等の情報

商品特有の情報：

消費者・供給者、市場、需要、製品、価格、競合製品等の情報。

上記のような情報について輸出を検討してい

る国の市場調査を行い、その国が市場として適しているか、輸出に際して、日本側及び相手側に法的規制はないか、また、輸出しようとする商品に需要があり、商品性や市場性のあるものかについて調査・検討を行うことがビジネスが成功するかどうかの分かれ目になります。

輸入の場合、もちろんターゲット市場は日本国内となりますので、一般的情報については国内品で調査を行う場合と同様の方法で行えばよいのですが、法制度面は品目によっては輸入の際許認可等を要するものがあるため、我が国の輸入規制について事前に調べておく必要があります。

商品特有の情報については、外国の商品がそのまま日本の市場に受け入れられるか、日本市場に適合させるためのコストに見合うだけの取引かどうかを事前に検討する必要があるという点が注意すべきポイントです。

### ■市場調査の方法

前節にて市場調査がいかに重要かということをお話しさせていただきましたが、市場調査にてジェトロがお手伝いできる方法をご案内いたします。

#### ①ジェトロ山口・資料閲覧コーナー<sup>1</sup>の利用：

ジェトロ山口では資料閲覧コーナーが利用でき、そこでは各国の経済概況・輸出規制などについての書物をご覧いただけ、コピーをお取りいただくことも可能です（コピーは有料）。また、無料でKOMPASSやGlobal Trade Atlas（詳細は以下）といったデータベースをご利用いただくことができ、検索結果をコピー（有

資料閲覧コーナー<sup>1</sup>

<https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/yamaguchi/lib.html>

料)にてお持ち帰りいただくこともできます。資料の閲覧や各データベースのご利用の際は、事前にご連絡ください。

#### KOMPASS :

世界73カ国約5700万件の企業情報を収録。企業名、業種等から検索可能。DB作成元はKOMPASS社。

#### Global Trade Atlas :

世界168カ国・地域の貿易統計 データベース。データソースは各国の統計作成機関。品目分類はHSコードを使用。詳細レベル以外にも、2, 4, 6桁でデータ(金額・数量)を確認することも可能。

#### ②JETRO e-Venue<sup>2</sup>の利用 :

JETRO e-Venueは、ジェトロが運営する国際ビジネスマッチングサイトです(ご利用無料)。

世界160カ国以上・約2万人のユーザーが利用しており、海外ユーザーが登録したビジネス案件も日本語と英語で閲覧ができるので、世界各国の商品・サービスを比較・検討しながらビジネスパートナーを探すことができます。

e-Venueにご登録いただき、ビジネスを世界に発信することで、どこにどのような需要があるのかを探ることができます。

#### ③海外ミニ調査サービス<sup>3</sup>の利用 :

本サービスはジェトロ海外事務所に依頼して「企業照会」「現地法令等検索」「統計資料検

#### JETRO e-Venue<sup>2</sup>

<https://www.jetro.go.jp/services/e-venue/>

#### 海外ミニ調査サービス<sup>3</sup>

[https://www.jetro.go.jp/services/quick\\_info/#page\\_menu3](https://www.jetro.go.jp/services/quick_info/#page_menu3)

索」「店頭小売価格調査」等海外取引の足掛かりとなる情報を調査する有料のサービスになります。以下の4つのメニューから調査内容を選択いただき、ご利用いただけます。

#### 1) 企業リストアップ :

輸出入や代理店、製造委託等のパートナー候補となりうる現地企業を10社リストアップいたします。調査はジェトロ海外事務所が保有するダイレクトリーやイエローページ、データベース及びインターネット等より該当する現地企業をピックアップして10社のリストを作成しますが、ご要望により追加項目として電話で購買窓口情報等のヒヤリングを行うことも可能です。海外ミニ調査サービスでよくご利用いただくメニューの一つです。

#### 2) 現地法令等検索(制度情報調査) :

ご指定の法律や政令等の原文を検索いたします。

例) 特定食品添加物の使用規制に関する調査、自動車排気騒音の規制に関する調査等

#### 3) 統計資料検索 :

海外現地の公的機関等が公表している輸出入や生産統計などを検索いたします。

例) 観光客数総計の検索、特定果実の輸入統計検索等

#### 4) 店頭小売価格調査 :

ご指定の商品について、現地のスーパーマーケット等の量販店や有力なネットストア、ネットショップでの販売価格をお調べいたします。

例) 日本産果物の小売価格調査、日本茶の小売価格調査等

④J-messe<sup>4</sup>の利用：

業種や開催地ごとに見本市・展示会検索情報を検索することができるほか、世界の見本市・展示会会場、見本市・展示会レポート、月間ランキングなど、さまざまな見本市・展示会関連トピックスを無料で提供しております。前述のe-Venue同様に、展示会に出展し、現地のリアルな声を聴くことで、需要の有無を確認することができます。

以上、4種類のジェトロサービスをご紹介いたしました。このほかにもジェトロ海外事務所のスタッフと現地の経済状況等についてご説明させていただく海外ブリーフィングサービスもあります。多くのサービスが無料にてご利用いただけますので、ご関心がありましたらお気軽にジェトロ山口までお問い合わせください。

## ■市場調査の方法～番外編～

前節にてジェトロサービスを利用する市場調査の方法についてご案内いたしました。このほかにもジェトロホームページにてご覧いただけるJ-FILE<sup>5</sup>では国・地域別に海外ビジネス情報や海外現地の制度・手続き等についてご確認いただけます。

J-FILEからはジェトロが発信する様々な情報に触れることができますが、今回はその中でも私のおすすめを3つご紹介いたします。

①地域・分析レポート<sup>6</sup>：

ジェトロホームページでは様々なテーマについて深掘りし、考察を加えた地域・分析レポートを掲載しています。掲載記事の内容は多岐にわたりますが、脱炭素と気候変動対策ビジネスや、

J-messe<sup>4</sup>

<https://www.jetro.go.jp/j-messe/>

アジアのサプライチェーンについてなど、日頃ニュースなどでよく目にする分野について取り扱っており、ご関心の分野についてより深く知ることのできる一つのツールとしてご活用いただけると思います。

また、海外の情勢についてだけでなく、国内中小企業の海外展開についてインタビューし、記事としてまとめた「中小企業の海外ビジネス、成功の秘訣」という特集もあります。輸出や海外進出に初めて取り組むことは、中小企業にとって簡単なことではありません。本特集では様々な問題を乗り越えて海外ビジネスに取り組む方々の生の声を掲載しておりますので、海外ビジネス成功のヒントが見つかるかもしれません。

②世界は今-JETRO Global Eye<sup>7</sup>：

ジェトロでは「世界は今-JETRO Global Eye」と題した国際ビジネス情報番組を配信しております。ジェトロの強みである国内外の広いネットワークを活用し、世界の経済・産業の最新動向や貿易、投資などの国際ビジネスに役立つ情報をインターネット等で配信しております。各動画はおおよそ10分弱で構成されているため、ちょっとした隙間時間にお気軽にご覧いただけるものとなっております。また、「人気特集TOP10」から世の中の関心はどういったところにあるのかがわかるため、個人的に非常にお勧めのコンテンツです。

J-FILE<sup>5</sup>

<https://www.jetro.go.jp/world/>  
地域・分析レポート<sup>6</sup>

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/>  
世界は今-JETRO Global Eye<sup>7</sup>

<https://www.jetro.go.jp/tv/>

③投資関連コスト比較調査<sup>8</sup>：

約世界60カ国100都市・地域において、各都市に進出した場合に想定されるコスト（投資関連コスト）を調査し、まとめたデータをご覧ください。

各都市で現地雇用した場合の賃金、工業団地や事務所の賃料、駐在員用住宅費、各種公共料金、輸送費などをご覧ください。ご関心のある年に進出された際のコストはいくらくらいになるかという目安としてご利用いただけます。また、「投資コスト比較」ページでは複数都市について、ご関心のある項目をピックアップし、横並びで比較することもできます。

---

投資関連コスト比較調査<sup>8</sup>

[https://www.jetro.go.jp/world/business\\_environment/cost.html](https://www.jetro.go.jp/world/business_environment/cost.html)

■終わりに

今回は貿易とは何かというところから、海外ビジネスを行うにあたって非常に重要な市場調査の方法についてお話しさせていただきました。今回はジェトロサービスの一部をご紹介いたしましたが、貿易投資相談窓口を設置しており、輸出や海外進出の実務のご相談に対して、経験豊富なアドバイザーがお応えするサービスもございますのでお気軽にご活用ください。海外ビジネスと聞くとリスクが高いといったイメージがあるかと思いますが、入念な市場調査・適切な貿易実務を行うことでリスクを低くすることができます。少しでも海外ビジネスにご関心がおありでしたら、いつでもジェトロ山口までご相談いただければと思います。

(TEL:083-231-5022)

(まとめ：ジェトロ山口 黒木)

## 青島派遣レポート

下関市総合政策部国際課  
(青島市派遣職員)

吉田和矢

## 一帯一路と中国の食文化

ニイハオ！私は2023年9月から2025年8月末まで青島市派遣職員として勤務することとなりました吉田です。このメッセ通信を通じて、青島のいろいろな情報をお届けしますので、お楽しみに♪

10月17日から18日にかけて、第3回一帯一路国際協力フォーラムが北京で開催されました。一帯一路とは、アジアとヨーロッパを中心に陸路と海上航路をつなぎ、巨大な経済圏を構築することで貿易を活発化させ、加盟国の共同発展と共同繁栄を目指す構想です。

現在、一帯一路のネットワークはユーラシア大陸からアフリカ、そしてラテンアメリカまで拡大されており、今回のフォーラムには各国の首脳を含む、約140か国の代表者が出席しました。2013年に習近平国家主席が提唱したこの現代版シルクロード経済圏構想は、今年でちょうど10周年。記念すべき年ということもあり、中国内の報道からもその盛り上がりを感じられました。

一帯一路の重要な成果の一つに鉄道網の構築があります。中国と欧州を結ぶ国際定期貨物列車「中欧班列」は、同フォーラム公式HPによると、今日までに77,000を超える運行本数を記録し、欧州の25か国217都市をカバーしていると紹介されています。

派遣業務の一つとして青島大学で中国語の勉強をしています。私のクラスには、ベトナム、タイ、ウズベキスタン、タジキスタン、ドバイ、ロシア、イギリス、韓国のクラスメートがいますが、一帯一路による中国と世界の経済的なつながりの縮図を見ているような気がします。

さて、一帯一路国際協力フォーラムの内容については、専門家の方の記事を見ていただくこととして、ここでは少し違った角度からフォーラムのお話をしたいと思います。

10月17日、各国から出席したVIPゲストのための晩餐会が開かれました。準備されたダイニングテーブルは長さ40mにも及び、端から端まで古代のシルクロードと現在の一帯一路をイメージしたアート作品で華やかに装飾されました。花やミニチュアなどによるテーブルの飾りつけもさることながら、ここで出される料理は、中国の食文化を代表するものであることは間違いありません。ということで、ネットで調べるとメニュー表がありましたのでご紹介したいと思います。

【晩餐会メニュー】

- ・冷盤（冷菜）
- ・全家福（寄せ鍋。家族の再会と幸福を象徴する縁起の良い料理）
- ・沙葱牛肉（エシャロットと牛肉炒め \*エシャロットは小型のたまねぎ）
- ・北京烤鸭（北京ダック）
- ・什锦鲜蔬（旬の野菜を使い、湯通し後塩や胡麻油で調味するシンプルな料理）
- ・冰花锅贴（“雪の結晶”と表現される、いわゆる羽根つきの焼き餃子）
- ・蟹黄烧麦（カニみそのシューマイ）
- ・天鵝酥（スワンケーキ。サクサクしたパイ生地が特徴）
- ・象形枇杷（枇杷に似せたお菓子。枇杷は子孫繁栄、幸福の象徴）

写真がないのが残念ですが、調べる限り、見た目も鮮やかで、とてもおいしそうな料理の数々です。まさに国家の威信をかけたメニューではないでしょうか。ここで豆知識🍷 中国のレストランで提供される料理は、一般的に最初に冷たい料理、次に温かい料理、スープ、最後に主食（米、餃子など）と続きます。もし先に主食が食べたい場合は、その旨店員に伝えればオッケーです。実践あれ(^^♪

さて最後に、晩餐会のお酒ですが、长城干红（2009年河北赤ワイン）、张裕干白（2016年北京白ワイン）、そして茅台（マオタイ：貴州省の特産、コーリャンを原料にした蒸留酒）が提供されました。このマオタイですが、アルコール度数が高く、高級品だと53度にもなる、なかなか刺激的なお酒です。最近では、若い人たちにも親しんでもらうために、マオタイ入りのアイスやカフェラテも販売されています。先日アイスを食べましたが、しっかりマオタイの風味が感じられました。

中国にお越しの際はぜひ本場の中華料理とお酒を楽しんでみてはいかがでしょうか？



【マオタイ入りアイス 日本円で800円ぐらい？】

## YMFGアジアニュース

山口銀行香港駐在員事務所  
山根元博

## 電気自動車の普及状況について

## 1. はじめに

香港では1年を通じて食品、酒類、美容・健康、ジュエリー、旅行等さまざまな展示会が開催されています。

新型コロナウイルスの発生により昨年までは中止や延期、規模の縮小を余儀なくされていましたが、ようやく今年に入り本格的に再開し、以前のような活気を取り戻しています。

6月15日～18日には「第37回INTERNATIONAL TRAVEL EXPO HONG KONG（香港国際旅遊展）」が開催されました。34の国・地域から500を超える団体が出展し、多くの来場者で賑わい、観光需要が着実に回復していることを実感しました。

その一方で、コロナ禍で人員整理をした航空業界は人手不足に悩まされています。

先日香港政府は人手不足が深刻な建設業、運輸業について域外から約20,000人の労働者を受け入れ、そのうち6,300人を航空業（グランドスタッフ、航空機牽引車運転手、倉庫オペレーターなど10職種）の現場スタッフが対象）に割り当てると発表しました。

香港国際空港の旅客数は今年4月までにコロナ前の50%を回復しました。2023年末には80%、2024年末にはコロナ前の水準を回復すると予測されており、航空業界では現在から2024年末までに16,000人が不足すると見込まれています。今回の域外からの受け入れだけではカバーできず、今後も待遇の改善等人材確保のための対策が求められています。

今回はカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一つである電気自動車（以下、EV車）の普及状況についてご紹介いたします。



展示会場入口の様子【筆者撮影】



街中を走るEV車【筆者撮影】

## 2. EV車の普及に向けたロードマップ

2020年11月の施政報告で2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする取り組みが発表されたことを受け、2021年3月香港政府環境局（現：環境及生態局）はEV車の普及に向けたロードマップを公表しました。

ロードマップは、グリーン・脱炭素化に向けたイノベーション、自家用EV車、商用EV車、充電施設、保守・修理、電池回収の6項目で構成されています。2050年までに全ての自動車の排ガスをゼロにする目標に向けて、2025年を目途に公共交通機関へのEV車の試験導入を積極的に進めつつ、具体的な実施の方向性やスケジュールを策定するとしています。また、20億香港ドル（約360億円）以上を投入し、民間商業施設・住宅に150,000カ所、公共施設に5,000カ所の充電施設の増設を進めています。更に2035年までに化石燃料車・ハイブリッド車の自家用車新規登録を停止することを目指しています。

重点施策として、以下の①～③が挙げられています。

- ①自家用EV車：初回の登録税・車両登録費用の優遇措置、公共駐車場での無料充電
- ②商用EV車：初回の登録税・法人税の免除、新エネルギー運輸基金からの補助金交付
- ③充電施設：民間・公共住宅や駐車場への充電施設の建設促進・補助

### 3. 自家用車の登録状況

下表の通り、自家用車のEV車比率は年々上昇しています。

EV車新規登録台数：2018年 471台（構成比1.1%）→2022年19,795台（同52.8%）

EV車総登録台数：2018年11,080台（構成比1.8%）→2022年46,565台（同7.2%）

2022年にEV車の新規登録台数が初めてガソリン車を上回りました。今年に入ってから順調に増加しており、4月末時点で新規登録台数8,085台（構成比62.4%）、総登録台数54,598台（同8.4%）となっています。

優遇措置や充電施設の整備等により普及が進んでおり、今後商用車（バス、タクシー、トラック等）への導入が進むことでEV車比率の向上に弾みがつきそうです。

### 4. おわりに

2022年の日本からの農林水産物・食品の国・地域別の輸出額で香港は2位（金額2,086億円、構成比15.6%）と大きなウエイトを占めていることから、規制が強化された場合の輸出への影響が懸念されており、今後の動向に注目が集まっています。

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っておりますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。（山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博）

#### 【参考文献】

- ・ The Daily NNA 香港&華南版  
放出なら水産物禁輸、福島原発処理水問題（2023年6月12日）
- ・ The Daily NNA 香港&華南版  
域外労働者2万人を受け入れ 運輸・建設業に、本土から通勤も（2023年6月14日）
- ・ 時事速報 香港版  
福島沿岸の水産品、禁輸も = 原発処理水放出に懸念（2023年6月12日）
- ・ 日本貿易振興機構（JETRO）  
香港政府、EV普及ロードマップを公表（2021年3月26日）  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/03/e708a615a954a24a.html>
- ・ 農林水産省 農林水産物・食品の輸出に関する統計情報  
[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_info/zisseki.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html)
- ・ 香港政府運輸署統計数字  
[https://www.td.gov.hk/tc/transport\\_in\\_hong\\_kong/transport\\_figures/index.html](https://www.td.gov.hk/tc/transport_in_hong_kong/transport_figures/index.html)
- ・ 香港政府環境保護署  
[https://www.epd.gov.hk/epd/tc\\_chi/top.html](https://www.epd.gov.hk/epd/tc_chi/top.html)

**中国**への貿易相談は

**海峡メッセ下関に**

**お任せください！**



**NEW**

**OPEN**

新しく貿易相談受付フォームを開設しました！

お気軽にご相談ください！



山口県国際総合センター



[https://www.kaikyomesse.jp/zaidan/international/int\\_support2/](https://www.kaikyomesse.jp/zaidan/international/int_support2/)